

# 歴史を忘れた街に 人の居場所はあるか？

「しゃりんけんトークセミナー」は、南山大学社会倫理研究所(しゃりんけん)が主催する「学生のためのトークセミナー」です。妊娠・出産の話や、環境問題、労務問題など、社会には通常の授業では学びきれない課題がたくさんあります。そのため、本セミナーでは、社会人になる前に知っておきた方がよいこと・考えておいた方がよいことを、各分野の専門家がわかりやすく解説し、さらに参加者のみなさんとのトークセッションを通じて議論します。

演題: **歴史的景観の復元と街づくり**  
～徳川光圀が作った水戸桜川をめぐって～

日時: **2019年7月12日(金)**

**4限目(15:15～16:45)15:00開場**

場所: **南山大学S21教室 ※申込不要**

対象: **南山大学に所属する大学生・大学院生**



講師: **稲葉寿郎氏** (いなば・じゅろう)

清真学園中学校・高等学校教諭・水戸桜川千本桜プロジェクト代表

企画・コーディネータ: **森山花鈴** (南山大学社会倫理研究所)

今回のテーマは、住んだり通り過ぎたり滞在したり、人が暮らす場所のあり方がテーマです。どんな街にもその街がたどってきた歴史があります。たとえば、南山大学の建物がなぜこんな形をしているのかにも理由があって、歴史を紐解けばその理由を知ることができます。日々多くの時間を過ごす場所の歴史を知ることはおそらく、そこで過ごす人の暮らしを味わい深いものにしてくれます。お花見の季節はとくに終わりましたが、桜並木もそうです。なぜ鶴舞公園に桜の木があんなにたくさん植えられているのか、誰がどんな意図でそうしたのか。そうした歴史を踏まえて見上げる桜はさらに美しく見えるでしょう。

今回は、茨城県水戸市で歴史ある桜の保全活動をされている稲葉さんに、景観保全になぜ歴史的な視点が必要なのか、それによって私たちの暮らしがどう変わっていくのかについてお話を伺います。